

各位

「2014 松山・白石の鼻巨石群フェスティバル」開催要項

平成 26 年 8 月 7 日（立秋）
松山・白石の鼻巨石群調査委員会
代表 仲矢文和

1. 開催の目的

松山・白石の鼻巨石群調査委員会では、これまで松山市高浜に存在する白石の鼻巨石群について 7 年間にわたり継続して観察した結果、太陽軌道との強い連動性を見出しました。二至二分（春分・秋分・夏至・冬至）に観測される神秘的な光景は県内外の人々に驚きをもって受け入れられて参りました。この愛媛県が誇る素晴らしいスポットをより多くの人々に広く知っていただき、また、活動の更なる深化を図るべく以下のように「2014 松山・白石の鼻巨石群フェスティバル」を開催します。

第一部シンポジウムでは、**安土城の石工集団**から続く**穴太積み**の第 14 代**栗田純司**先生を基調講演に迎えます。日本の城郭建設に大きな影響を与えた穴太衆。栗田先生はその伝統を受け継ぐ唯一の会社・栗田建設会長で日本の伝統文化・技法を後世に伝える活動も盛んに実施しておられます。昨年・平成 25 年にはそれらの功績が認められ「**読売あをによし賞**」も受賞されました。自然石を組み合わせる強固な石垣を造ることを得意とする穴太積みの名工に白石の鼻巨石群も見学していただく予定です。栗田先生の興味深いお話をお楽しみ下さい。

そして、当会研究員篠澤による最新 1 年間の白石の鼻巨石群の追跡調査「**空撮映像で見る白石の鼻巨石群の不都合な真実！**」の研究発表も行います。

佐川印刷株式会社様に協力いただいたラジコンによる空撮映像から白石の鼻巨石群の謎に迫ります。

第二部では、現地で白石の鼻海岸での夕日観賞会や、インターネットを活用した俳句大会など複合的に多くの世代が楽しめる内容としております。2014 年の秋を皆さんと一緒にお祝いしたいと思いますので奮ってのご参加をお願いいたします。

当会は松山市が推進する「**坂の上の雲フィールドミュージアム活動支援事業**」に過去 5 年間継続して事業推進して参りました。本イベントもその趣旨に則り、住民自らが地域資産を掘り起こし磨き上げ、他の地域や団体と協力、切磋琢磨しながら地域や地域外への啓発、情報発信を行い、もって地域の発展に寄与することを目的としています。

2. 内容

日時 9 月 13 日（土）

「2014 松山・白石の鼻巨石群フェスティバル」

① 第一部 シンポジウム

「安土城の普請で名を馳せた穴太衆の石組みと白石の鼻巨石群！」

13：30～16：20

・主催者挨拶（仲矢文和）

・来賓挨拶

・基調講演（80 分） 栗田建設会長・石工 栗田純司

「戦国時代から続く安土城の石工の技術・穴太積み（仮題）」

- ・研究発表（45分） 松山・白石の鼻巨石群調査委員会 篠澤邦彦
「空撮映像で見る白石の鼻巨石群の不都合な真実！」

② 第二部 白石の鼻 夕日の観賞会

・17:10~18:00

・現地での概要説明と、夕日の鑑賞会。

（夕日の観賞会は雨天の場合、中止する場合があります）

③ 共催イベント インターネット吟行会（まつやま俳句でまちづくりの会主催）

・当日の白石の鼻の写真をまつやま俳句でまちづくりの会の Facebook ページにアップします。

・写真ごとに俳句を投句していただき、選ばれた俳句と写真を組み合わせた映像俳句を作成し、YouTube にアップします。

問い合わせ先 電話：070-5513-0575（キム） mail：mhm_info@e-mhm.com

3. 場所

① 高浜公民館ホール 大会議室

② 白石の鼻海岸（夕日の観賞会）

（松山市高浜6丁目）

※現地への移動は自己解決でお願いいたします。

4. 募集人数・募集方法

① 60名

② 参加料

・前売り 2000円（当日 2500円）

※前売りは9/10まで。

※銀行振込またはクレジット払い（paypal）

③ 募集方法（予約申し込み要）

当調査委員会ホームページからお申込ください。

④ 問い合わせ先

・事務局：篠澤 050-3693-7105(18:30以後)

・松山・白石の鼻巨石群調査委員会

ホームページ：<http://haku1414.com/>

メール：shiraishinohana.labo@gmail.com

5. 後援等

① 協力

まつやま俳句でまちづくりの会

② 後援

愛媛県、松山市、愛媛新聞社

以上

(講師・発表者略歴)

栗田純司 栗田建設会長・石工。

城郭建築に計り知れない影響を与えた安土城。この天下の名城の石垣を築いたのが、現在の天津市穴太に集住していた「穴太衆」と呼ばれる石工集団だった。

安土城を築き、石垣普請で天下に名を轟かせた石工集団「穴太衆」。穴太衆が積み上げた石垣のことを、その名を冠して「穴太衆積み」という。実は、織豊政権以降に築かれた現存する城郭のうち8割にも上る城の石垣が、「穴太衆」たちによって築かれたものといわれている。

そんな優秀な技能集団、「穴太衆」の技術を四百年以上もの間守り伝えてきた人たちが大津市の坂本にいる。日本で唯一、穴太衆積みの技術を代々受け継いできた栗田家の方々だ。栗田家の現当主、第14代栗田純司さんは、平成12年(2000年)に古式穴太衆積みの技術継承者として、日本でただ一人、「現代の名工」にも選ばれた石匠だ。現在、「株式会社栗田建設」の会長として、また「文化財石垣保存協会」代表として幅広い活動を続けている。平成25年「読売あをによし賞」を受賞。

篠澤邦彦 松山・白石の鼻巨石群調査委員会主任研究員

H20.1月に偶然、通りかかった瞬間に「白石の鼻」の巨石がオーパーツであると直感。その後、集中的に調査・研究し、二至二分の夕日のラインと巨石群が整列することを実証。H20.9月、イワクラサミット(神戸)にて研究レポートを報告。現在、「白石の鼻」巨石文化の可能性について調査研究・情報発信・普及に努めている。郷土史研究家、イワクラ学会理事、システムエンジニア、著書に「伊予のストーンヘンジ」がある。